

ヤマダが提供する究極のスマートハウス 「YAMADA スマートハウス」誕生！！

～20代から持てる次世代へ住み継ぐ住まい～

株式会社ヤマダホームズ（本社：群馬県高崎市、代表取締役兼社長執行役員：清村浩一、以下 ヤマダホームズ）は、動く蓄電池（EV）を標準搭載し、太陽光発電システム、V2H、IoTシステムを使って「創エネ・蓄エネ・省エネ+エンタメ・健康・セキュリティ、そして繋がるIoT」を実現する近未来スタンダード住宅「YAMADA スマートハウス」を、2023年10月14日（土）より販売を開始しました。家電、家具はもちろん、リフォーム、金融、動く蓄電池（EV）に至るまで住空間全てのインフラをラインナップしたヤマダホールディングスグループのシナジーを最大化した究極スマートハウスが誕生しました。

■究極のYAMADA スマートハウス 3つの特徴

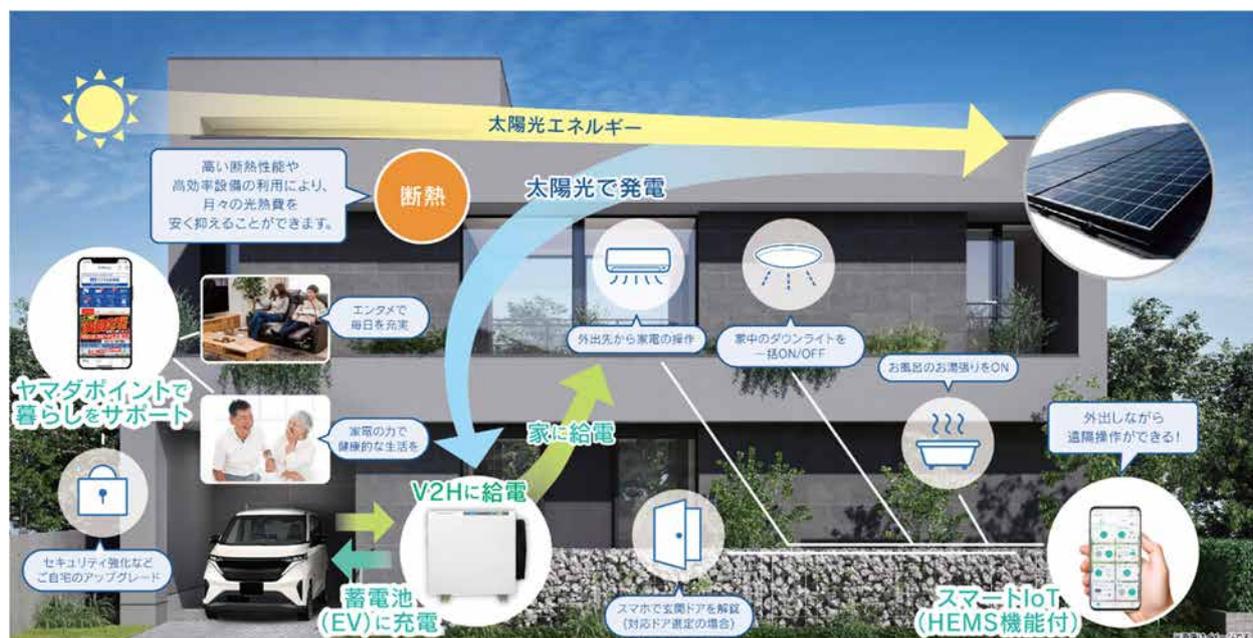
創エネ・蓄エネ・省エネ+エンタメ・健康・セキュリティ、そして繋がるIoT。
ヤマダだからできる次世代の暮らし提案。

50年ローンなら実質負担が月々3万円台～！ 20代から持てる次世代へ住み継ぐ住まい。

さらに最大300万円分の高額ポイント付き。家電も、家具も、おもちゃも、自転車も、リフォームも、ヤマダデンキで選べる。また、付帯設備のグレードアップにも利用できる。

■究極のYAMADA スマートハウスの実現

本商品は、ヤマダホームズが住宅事業で長年培ってきた技術力と、ヤマダホールディングスグループの持つ家電事業の強みを活かし、株式会社リンクジャパン（本社：東京都港区、代表取締役：河千泰 進一、以下 リンクジャパン）のスマートホーム統合アプリ「HomeLink」を標準装備しました。



「HomeLink」は、条件に合わせた家電や住宅設備の自動制御、監視や見守り、遠隔コミュニケーションなどの利便性・快適性・防犯性を提供すると共に、HEMS、オンライン診療、ヘルスケアサービスなどがワンアプリで利用可能となります。

■CO₂を排出しない3設備を標準装備

動く蓄電池（EV）、太陽光発電システム、V2Hを標準装備することで、環境にも配慮し、かつ災害に対応する“自給自足の生活”を実現、持続可能な社会へ向けた、地球環境に優しい次世代の暮らしをご提案いたします。



■ヤマダだからこそ実現できるワンストップのご提案

ヤマダホームズは、「暮らしまるごと、ぜんぶ。」をコンセプトに、ヤマダホールディングスグループのインフラを最大限活用し、充実の標準設備、安心の保証、納得の価格を実現しました。動く蓄電池（EV）、住宅ローン、保険、保証など、ヤマダスマートハウス購入に関連する商品をまとめてご提供します。

ヤマダが快適な暮らしのスタートを強力にサポート

「YAMADA スマートハウス」(新築)をご成約頂いた方に、
ヤマダデンキで家電家具等が買える
ヤマダポイント“300～100万円”分を進呈！

「松コース：プレミアムモデル」をご成約 ⇒	ヤマダポイント 300万円分 進呈！
「竹コース：スタンダードモデル」をご成約 ⇒	ヤマダポイント 200万円分 進呈！
「梅コース：ベーシックモデル」をご成約 ⇒	ヤマダポイント 100万円分 進呈！

大型テレビ、冷蔵庫、洗濯機、電動ソファ、電動ベッド、ステルス家電、おもちゃ、自転車、リフォームも。ヤマダならではの“暮らしまるごと”を体現！

■商品ラインナップ、販売価格等（ヤマダ NEOBANK ご利用の場合）

	販売価格(税込) ※1	参考月額返済 ※2
松コース：プレミアムモデル	39,800,000円	74,445円（借入3,980万円）
竹コース：スタンダードモデル	34,800,000円	65,092円（借入3,480万円）
梅コース：ベーシックモデル	29,800,000円	55,179円（借入2,950万円）

※1 :プレミアムモデルは施工面積 32 坪、スタンダードモデル同 31 坪、ベーシックモデル同 29 坪の参考価格。
 お客様諸費用ご負担額（販売価格とは別途必要）：プレミアムモデル 2,009,900 円、スタンダードモデル 1,757,400 円、ベーシックモデル 1,795,000 円。
 ※2 :変動金利 0.47%、元利均等返済、ボーナス時返済なし、返済期間 50 年（返済期間満 80 歳まで）
 （2023 年 10 月時点）。

■50 年ローンなら実質負担が月々 3 万円台^{※3}に

**ガソリンを使わず、動く蓄電池(EV)で移動。
環境と家計の双方に優しい暮らし。**

太陽光で電気をつくる





動く蓄電池(EV)に充電・蓄電



環境に優しい



EVで、レジャーに、通勤・通学に。

家計に優しい

太陽光発電+EVで、
月額17,656円の光熱費とガソリン代を節約。
月々の住宅ローン負担軽減に貢献。

経済効果

「梅コース:ベーシックモデル」の場合、
節約分17,656円を月額返済に充当すると、



月々の実質負担が、
なんと37,523円に

※3 : 太陽光発電システム、蓄電池等を設置していない一般住宅と太陽光発電システム、V2H、EV を設置したオール電化住宅のスマートハウスを比較すると、一定の条件のもとシミュレーションすると、電気代で約 8.1 万円/年、EV 利用でガソリン代が約 13 万円/年お得となり、合計すると 1 ヶ月あたり約 1.7 万円お得になります。月額実質負担額は、これを考慮して算出した参考値です。

■ヤマダだからできる次世代の暮らし提案

(住宅にも頭脳を入れる ⇒ スマートホーム統合アプリを注文住宅全棟標準採用)



家電や住宅設備の制御はもちろん、ホームセキュリティや HEMS、オンライン診療、ヘルスケアサービス等、これまで複雑な仕組みであったものを、ワンアプリで利用を実現するスマート IoT システムを採用いたします。ヤマダが提供するサービス（家電購入、リフォーム依頼、保険申込、車検申請など）も、本アプリ内で利用が可能です。

■YAMADA スマートハウス展示場 2024 年 4 月中旬に登場！

2024 年 4 月中旬、ヤマダデンキ Tecc LIFE SELECT 前橋吉岡店の駐車場に、YAMADA スマートハウスの展示場が登場します。

「健康」「災害」への対応をより進化させて強化を図った、ヤマダが考えるスマートハウス構想“スーパープレミアムスマートハウス”を展示予定です。



■ヤマダスマートシティを目指して

経済産業省が推進する、家で発電した電気を電気が足りない家庭に直接供給できる VPP（バーチャル・パワー・プラント）社会は、すぐそこまで迫っています。一戸建てで電気を融通・有効活用し、スマートハウス 1,000 棟分のネットワークで小型の水力発電所 1 基分を賄うことができます。

地球温暖化に貢献し地球環境に優しい YAMADA スマートハウスが、未来の子供たちへ安心を提供します。



▲各ご家庭で 10kw 発電、1,000 棟で 10,000kw の電力が調整可能。 ※小型の水力発電所 1 基分の発電量と同等

■くらしをシェアワセにする、ぜんぶ。

ヤマダホールディングスは 2024 年に 50 周年を迎えます。経営理念に掲げる「創造と挑戦」の想いはそのままに、社会のニーズを的確に捉えた多様なサービスの提供を通じて、皆様の暮らしのすべてを満たすヤマダであり続けます。



▲10月26日 都内にて発表会を開催、スマートハウスを紹介する代表取締役兼社長執行役員 清村浩一

■ **商品名、販売開始、エリア**

商品名：YAMADA スマートハウス

販売開始：2023年10月14日（土）から

販売エリア：北海道、沖縄県を除く全国（但し、離島や一部エリアを除く）

以上

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社ヤマダホームズ 経営企画室 岡田・山本・近藤、設計部 林

TEL：027-310-2244 E-mail：ir-koho@yamadahomes.jp